

令和2年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)

事業内容報告書の概要

令和2年度に実施した取組の内容及び成果と課題						
1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等) 日本語指導講師 学習支援員 住民課(外国人担当) 学校教育課課長補佐						
2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること <ul style="list-style-type: none"> ・指導体制の構築 ・「特別の教育課程」による日本語指導の実施 ・自動翻訳機を活用した外国人児童生徒および保護者支援 ・指導実践について共有 						
3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること <ul style="list-style-type: none"> ・在籍校に日本語指導担当講師および学習支援員を配置したため、児童生徒に日本語指導および生活指導を行うことができた。しかし、住民課の外国人担当は、他の課における業務と兼務のため、調整を行う必要があったり、十分に学校に対して支援できなかつたりした。また、母語が多岐にわたるため、対応しにくい母語があった。 ・外国人児童生徒に対する理解が深まり、きめ細かい指導につながった。個別の指導計画をもとにさらなる活用を図っていく必要がある。 ・自動翻訳機の活用により、児童生徒の学校生活への安心感が増し、意欲向上につながった。保護者との信頼関係の構築につながった。しかし、対応すべき対象者が多く、必要な時に対応しきれない場面があった。 ・在籍校での指導実践について、共有することができた。今後は、共有した情報から指導・支援に活かしていく必要がある。 						
日本語指導が必要な児童生徒のうち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒の割合	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
	24%	44%	%	%	%	%
うち、個別の指導計画の指導目標が達成できた児童生徒の割合	33%	0%	%	%	%	%
4. その他(今後の取組予定等) <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の活用に向け、自動翻訳機の整備を行う。 						

※枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。